

SUPER GT300クラスへ参戦する #9 PACIFIC RACING TEAMが 2020シーズンの参戦体制を発表！

PACIFIC RACING TEAM（名古屋市東区、エントラント代表：神野元樹）はこの度、2020年SUPER GTシリーズへの参戦体制を発表した。

PACIFIC RACING TEAMは2009年から国内最高峰の自動車レースSUPER GTシリーズへのフル参戦を行っており、2020シーズンにおいては、新たな体制での参戦によって過去最高成績を目指すこととなる。

今回発表されたチーム体制では、D'station Racingとジョイントし、エントラント名を「PACIFIC - D'station Racing」に変更、シリーズチャンピオン獲得を狙い、シーズンを戦う。

ドライバーはSUPER GTで通算9勝を挙げる藤井誠暢選手、そして2020/21年のWEC世界耐久選手権LMGTE-Proクラスで現在2勝を挙げランキングトップを走るエース格のワークスドライバーであるニッキー・ティーム選手がAston Martin Racingより派遣される。

車両はAston Martin Vantage AMR GT3を使用、タイヤパートナーは、フランスに本拠地を持つタイヤメーカー MICHELIN 社が務める。MICHELINタイヤのGT300クラスへの供給は、2014シーズン以来6年振りとなる。

また、PACIFIC RACING TEAMは2019年より株式会社GOOD SPEED(名古屋市東区、代表取締役社長：加藤久統)とパートナーシップを結んでおり、2020シーズンも継続となる。株式会社GOOD SPEEDは東海エリアでSUVを中心とした中古車販売を主力事業とし、2002年の創業から大きく成長を遂げている。今回のプロジェクトにおいても同チームの協賛に加え、ピットに同社の整備士を派遣するなどし、実践型の人材育成にも力を注ぐ。

メンテナンスは、PACIFIC RACING TEAMと2015年より産学連携協定を締結している中日本自動車短期大学（NAC、岐阜県坂祝町）、及びD'station Racingが担当する。NACは国内最大規模の実習施設を持つ自動車整備士養成機関として業界内で広く知られ、2020年で53周年を迎える。2020シーズンも同校のモータースポーツエンジニアリング学科の学生がプロエンジニア・メカニックの管理・指導の下、ピットクルーとしてチームをサポートする。

エントラント代表は2019シーズンに引き続き神野元樹氏、チーム総監督には元メジャーリーガーの“大魔神”こと佐々木主浩氏が務める。

新たなチーム体制となった2020シーズンの活躍に期待したい。



【チーム体制】

- 参戦クラス : GT300クラス
- ゼッケン : #9
- エントラント代表 : 神野元樹
- エントラント名 : PACIFIC - D'station Racing
- 参戦車両 : Aston Martin Vantage AMR GT3
- 車両名 : PACIFIC NAC - D'station Vantage AMR GT3
- 使用タイヤ : MICHELIN
- チーム総監督 : 佐々木主浩
- ドライバー : 藤井誠暢 / ニッキー・ティーム
- メンテナンス : D'station Racing / NAC(中日本自動車短期大学)

【関連サイト】

- PACIFIC RACING TEAM : <http://www.pacific-racing.jp/>
- D'station Racing : <http://dstation-racing.jp/>
- 中日本自動車短期大学 : <http://www.nakanihon.ac.jp/>
- グッドスピード : <https://www.goodspeed.ne.jp/>

【本件についてのお問い合わせ】

株式会社PACIFIC RACING TEAM

担当：上野、今石 メールアドレス：contact@pacific-racing.jp